

作成日 2024/07/01

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

| | |
|---------|------------------------------|
| 製品名 | CRハイメンダー |
| 推奨用途 | 補修材(断面修復) |
| 使用上の制限 | 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと |
| 会社名 | ダイセルミライズ株式会社 |
| 担当部門 | 営業本部コンシューマー営業部産業資材グループ |
| 本社住所 | 〒108-8231 東京都港区港南 2-18-1 |
| 電話 | 03-6711-8513 |
| FAX | 03-6711-8516 |
| 大阪支店 | 〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1 |
| 電話 | 06-7639-7471 |
| FAX | 06-7639-7477 |
| 緊急時の連絡先 | 同上 |

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

| | |
|-------|---|
| 健康有害性 | 皮膚腐食性/刺激性 区分1 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1 生殖細胞変異原性 区分2 発がん性 区分1A 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(呼吸器 腎臓 免疫系) 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない(分類対象外)か分類できない。 |
|-------|---|

GHSラベル要素

絵表示



| | |
|--------------|--|
| 注意喚起語 | 危険 |
| 危険有害性情報 | H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 H335 呼吸器への刺激のおそれ H341 遺伝性疾患のおそれの疑い H350 発がんのおそれ H372 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、腎臓、免疫系の障害 |
| 注意書き 安全対策 | 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201) 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202) 粉じんを吸入しないこと。(P260) 取扱い後はよく手を洗うこと。(P264) この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270) 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280) |

| | |
|------|---|
| 応急措置 | <p>飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。(P301+P330+P331)</p> <p>皮膚又は髪に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)</p> <p>吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)</p> <p>眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)</p> <p>ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。(P308+P313)</p> <p>直ちに医師に連絡すること。(P310)</p> <p>気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)</p> <p>気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。(P314)</p> <p>特別な処置が必要である。(P321)</p> <p>汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。(P363)</p> |
| 保管 | <p>換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)</p> |
| 廃棄 | <p>施錠して保管すること。(P405)</p> <p>内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)</p> |

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別
化学名又は一般名
別名

混合物
CRハイメンダー
混合物

| 化学名又は一般名 | 濃度又は濃度範囲 | 化学式 | 官報公示整理番号 | | CAS番号 |
|-----------------|----------|-------------------|----------|-----|------------|
| | | | 化審法 | 安衛法 | |
| ポルトランドセメント | 32% | 特定できない | 非公開 | 非公開 | 65997-15-1 |
| 二酸化ケイ素 | 66% | SiO ₂ | (1)-548 | 既存 | 14808-60-7 |
| ソーダジルコニア珪酸塩ガラス | 0.09 | 特定できない | 非公開 | 非公開 | 65997-17-3 |
| ポリオキシアルキレングリコール | 0.41 | 特定できない | 非公開 | 非公開 | 34503-11-2 |
| 硫酸カルシウム | 0.35 | CaSO ₄ | (1)-193 | 既存 | 7778-18-9 |
| カルシウムサルファアルミネート | 0.23 | 特定できない | 非公開 | 非公開 | 12004-14-7 |
| 酸化カルシウム | 0.17 | CaO | (1)-189 | 既存 | 1305-78-8 |

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。
特別な処置が必要である。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

| | |
|---|---|
| 眼に入った場合 | 直ちに医師に連絡すること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。 水と石鹼で洗うこと。 特別な処置が必要である。 皮膚を速やかに洗浄すること。 医師の診断、手当てを受けること。 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。 |
| 飲み込んだ場合 | 気分が悪い時は、医師に連絡すること。 直ちに医師に連絡すること。 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 医師の診断、手当てを受けること。 |
| 5. 火災時の措置 適切な消火剤 使ってはならない消火剤 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 | 情報なし 情報なし 消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。 |
| 6. 漏出時の措置 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外は近づけない。 風上に留まる。 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 低地から離れる。 |
| 環境に対する注意事項 | 本製品は、水汚染物なので土壌汚染、もしくは排水溝及び排水系及び大量の水に流入することを防止する。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | 物質を固化して掻き取る。 |
| 二次災害の防止策 | 本製品は水に浮かぶため火災の危険がある。可能ならば、浮いている製品を封じ込めるよう努める。 除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。 蒸気は水噴霧で制御できる。液体が蒸発して更に多くの蒸気を発生させるため、水流はその液体の方に向けないほうがよい。 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。 物質を吸込み又は掃き取って廃棄用容器に入れること。 不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。 掬い取るか、適切な吸収材によって水表面から除去する。分散剤を使用してはならない。 すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 |

滑らかな滑りやすい表面を床上に形成するので、完全に取除くこと。

7. 取扱い及び保管上の注意
取扱い

技術的対策

安全取扱注意事項

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
使用前に使用説明書入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。
粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。

排気用の換気を行うこと。
接触、吸入又は飲み込まないこと。

『10. 安定性及び反応性』を参照。

取扱い後はよく手を洗うこと。
保管場所には、危険物を貯蔵し又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
『10. 安定性及び反応性』を参照。
施錠して保管すること。

接触回避
衛生対策

安全な保管条件

保管

8. ばく露防止及び保護措置

| | 管理濃度 | 許容濃度(産衛学会) | 許容濃度(ACGIH) |
|--|------|---|---|
| ポルトランドセメント、アルミナセメント、スラグセメント、スーパーサルフェートセメントその他これらに類する水硬性セメント(着色してあるかないか又はクリンカー状であるかないかを問わない。) | 未設定 | 未設定 | TWA 1 mg/m ³ (E, R), STEL - |
| 二酸化ケイ素 | 未設定 | 【粉塵許容濃度】(吸入性結晶質シリカ)0.03m | TWA 0.025 mg/m ³ (R), STEL - |
| アルミナホウ珪酸ガラス | 未設定 | 0.01mg/m ³ (Agとして);0.05mg/m ³ (Cdとして);0.05mg/m ³ (Coとして);0.5mg/m ³ (Crとして);0.2 mg/m ³ (Mnとして、有機マンガ化合物を除く);0.03mg/m ³ (Pbとして、アルキル鉛化合物を除く);0.1mg/m ³ (Sbとして、スチビンを除く);0.1mg/m ³ (Seとして、セレン化水素、六フッ素化セレンを除く) | TWA 0.01 mg/m ³ , STEL - (as As);TWA 0.01 mg/m ³ , 0.002 mg/m ³ (R), STEL - (as Cd);TWA 0.02 mg/m ³ (R), 0.1 mg/m ³ (I), STEL - (as Mn);TWA 0.05 mg/m ³ , STEL - (as Pb);TWA 0.5 mg/m ³ , STEL - (as Sb);TWA 0.2 mg/m ³ , STEL - (as Se);TWA 0.1 mg/m ³ , STEL - (as Te, excluding hydrogen telluride) |

| | | | |
|---------------------------|-----|-----|--------------------------------------|
| ポリアルキレングリコールモノ(又はジ)アクリレート | 未設定 | 未設定 | 未設定 |
| 石こう | 未設定 | 未設定 | TWA 10 mg/m ³ (I), STEL - |
| ケイ酸アルミニウム | 未設定 | 未設定 | 未設定 |
| 酸化カルシウム | 未設定 | 未設定 | TWA 2 mg/m ³ , STEL - |

設備対策

本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
 高熱取扱いで、工程で粉じん、ヒュームが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。
 高熱取扱いで、工程で蒸気、ヒューム、ミストが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。

高熱取扱いで、工程でガスが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。

高熱取扱いで、工程で蒸気、ヒューム、ミストが発生するときは、換気装置を設置する。

高熱取扱いで、工程で粉じん、ヒュームが発生するときは、換気装置を設置する。

高熱取扱いで、工程でガスが発生するときは換気装置を設置する。

空気中の濃度を制御するには、一般適正換気で十分である。

特別な換気要求事項はない。

本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて個人用呼吸器保護具を使用すること。

手の保護具

保護手袋を着用すること。

ニトリルゴム及び塩ビは適切な保護材料ではない。ネオプレンが推奨される。

飛沫がとぶ可能性のあるときは、全身の化学用保護衣(耐酸スーツ等)を着用する。

眼、顔面の保護具

眼の保護具を着用すること。

化学飛沫用のゴーグル及び規格にあった顔面保護具を着用すること。

安全眼鏡を着用すること。撥ね飛び又は噴霧によって眼及び顔面接触が起こりうる時は、包括的な化学スプラッシュゴーグル、及び顔面シールドを着用すること。

皮膚及び身体の保護具

顔面用の保護具を着用すること。

保護衣／保護面を着用すること。

一切の接触を防止するにはネオプレン製の、手袋、エプロン、ブーツ、又は全体スーツ等の不透水性の防具を適宜着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

固体

形状

固体(粉末)

色

灰色

臭い

その他

融点／凝固点

知見なし

| | | |
|-------------------|----|--|
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | | 知見なし |
| 可燃性 | | 知見なし |
| 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 | 下限 | 知見なし |
| | 上限 | 知見なし |
| 引火点 | | 引火せず |
| 自然発火点 | | 知見なし |
| 分解温度 | | 知見なし |
| pH | | 12 ~ 13 |
| 動粘性率 | | データなし |
| 溶解度 | | 知見なし |
| n-オクタノール／水分配係数 | | 知見なし |
| 蒸気圧 | | 知見なし |
| 密度及び／又は相対密度 | | 知見なし |
| 相対ガス密度 | | 知見なし |
| 粒子特性 | | データなし |
| 10. 安定性及び反応性 | | |
| 反応性 | | 知見なし |
| 化学的安定性 | | 知見なし |
| 危険有害反応可能性 | | 知見なし |
| 避けるべき条件 | | 知見なし |
| 混触危険物質 | | 知見なし |
| 危険有害な分解生成物 | | 知見なし |
| 11. 有害性情報 | | |
| 急性毒性 | 経口 | <p>毒性値あり:酸化カルシウム(毒性値=5000mg/kg 含有率=0.17%)</p> <p>区分に該当しない:石こう(含有率=0.35%)</p> <p>分類できない:二酸化ケイ素(含有率=66%), ポリアルキレングリコールモノ(又はジ)アクリレート(含有率=0.41%), ケイ酸アルミニウム(含有率=0.23%), アルミナホウ珪酸ガラス(含有率=0.09%), ポートランドセメント、アルミナセメント、スラグセメント、スーパーサルフェートセメントその他これらに類する水硬性セメント(着色してあるかないか又はクリンカー状であるかないかを問わない。)(含有率=32.75%)</p> <p>ATEmix=(100% - 99.48%) / ((0.17% / 5000mg/kg) + (0.35% / ∞mg/kg)) 計算結果が15294.1176471mg/kgのため、区分に該当しないに該当。</p> <p>毒性未知成分を99.48%含有。</p> <p>毒性未知成分が考慮濃度(0.1%)以上なので、区分に該当しないから分類できないに変更。</p> |

| | |
|-----------|---|
| 経皮 | 分類できない:酸化カルシウム(含有率=0.17%), 二酸化ケイ素(含有率=66%), ポリアルキレングリコールモノ(又はジ)アクリレート(含有率=0.41%), ケイ酸アルミニウム(含有率=0.23%), 石こう(含有率=0.35%), アルミナホウ珪酸ガラス(含有率=0.09%), ポートランドセメント、アルミナセメント、スラグセメント、スーパーサルフェートセメントその他これらに類する水硬性セメント(着色してあるかないか又はクリンカー状であるかないかを問わない。)(含有率=32.75%) |
| 吸入 | データ不足のため分類できない。 ※本ツールでは、ppmとmg/lで計算を行います。判定結果はppmを採用します。 急性毒性(吸入:蒸気):ppmでの計算 分類できない:ポリアルキレングリコールモノ(又はジ)アクリレート(含有率=0.41%), ケイ酸アルミニウム(含有率=0.23%), アルミナホウ珪酸ガラス(含有率=0.09%) 分類対象外:酸化カルシウム(含有率=0.17%), 二酸化ケイ素(含有率=66%), 石こう(含有率=0.35%), ポートランドセメント、アルミナセメント、スラグセメント、スーパーサルフェートセメントその他これらに類する水硬性セメント(着色してあるかないか又はクリンカー状であるかないかを問わない。)(含有率=32.75%) データ不足のため分類できない。 急性毒性(吸入:蒸気):mg/lでの計算 分類できない:ポリアルキレングリコールモノ(又はジ)アクリレート(含有率=0.41%), ケイ酸アルミニウム(含有率=0.23%), アルミナホウ珪酸ガラス(含有率=0.09%) 分類対象外:酸化カルシウム(含有率=0.17%), 二酸化ケイ素(含有率=66%), 石こう(含有率=0.35%), ポートランドセメント、アルミナセメント、スラグセメント、スーパーサルフェートセメントその他これらに類する水硬性セメント(着色してあるかないか又はクリンカー状であるかないかを問わない。)(含有率=32.75%) データ不足のため分類できない。 分類できない:酸化カルシウム(含有率=0.17%), 二酸化ケイ素(含有率=66%), ポリアルキレングリコールモノ(又はジ)アクリレート(含有率=0.41%), ケイ酸アルミニウム(含有率=0.23%), 石こう(含有率=0.35%), アルミナホウ珪酸ガラス(含有率=0.09%), ポートランドセメント、アルミナセメント、スラグセメント、スーパーサルフェートセメントその他これらに類する水硬性セメント(着色してあるかないか又はクリンカー状であるかないかを問わない。)(含有率=32.75%) データ不足のため分類できない。 水と接触すると強アルカリ性pH(12~13)を呈し、眼、鼻、皮膚に刺激性があり、眼の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起こす可能性がある為、区分1とした。 |
| 皮膚腐食性/刺激性 | |

眼に対する重篤な損傷
性／眼刺激性

水と接触すると強アルカリ性pH(12~13)を呈し、眼、鼻、皮膚に刺激性があり、眼の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起こす可能性がある為、区分1とした。

呼吸器感作性

分類できない:酸化カルシウム(含有率=0.17%), 二酸化ケイ素(含有率=66%), ポリアルキレングリコールモノ(又はジ)アクリレート(含有率=0.41%), ケイ酸アルミニウム(含有率=0.23%), 石こう(含有率=0.35%), アルミナホウ珪酸ガラス(含有率=0.09%), ポートランドセメント、アルミナセメント、スラグセメント、スーパーサルフェートセメントその他これらに類する水硬性セメント(着色してあるかないか又はクリンカー状であるかないかを問わない。)(含有率=32.75%)

皮膚感作性

データ不足のため分類できない。
分類できない:酸化カルシウム(含有率=0.17%), 二酸化ケイ素(含有率=66%), ポリアルキレングリコールモノ(又はジ)アクリレート(含有率=0.41%), ケイ酸アルミニウム(含有率=0.23%), 石こう(含有率=0.35%), アルミナホウ珪酸ガラス(含有率=0.09%), ポートランドセメント、アルミナセメント、スラグセメント、スーパーサルフェートセメントその他これらに類する水硬性セメント(着色してあるかないか又はクリンカー状であるかないかを問わない。)(含有率=32.75%)

生殖細胞変異原性

データ不足のため分類できない。
区分2:二酸化ケイ素(含有率=66%)
分類できない:酸化カルシウム(含有率=0.17%), ポリアルキレングリコールモノ(又はジ)アクリレート(含有率=0.41%), ケイ酸アルミニウム(含有率=0.23%), 石こう(含有率=0.35%), アルミナホウ珪酸ガラス(含有率=0.09%), ポートランドセメント、アルミナセメント、スラグセメント、スーパーサルフェートセメントその他これらに類する水硬性セメント(着色してあるかないか又はクリンカー状であるかないかを問わない。)(含有率=32.75%)

発がん性

二酸化ケイ素が66% \geq 1%のため、区分2に該当。
区分1A:二酸化ケイ素(含有率=66%)
分類できない:酸化カルシウム(含有率=0.17%), ポリアルキレングリコールモノ(又はジ)アクリレート(含有率=0.41%), ケイ酸アルミニウム(含有率=0.23%), 石こう(含有率=0.35%), アルミナホウ珪酸ガラス(含有率=0.09%), ポートランドセメント、アルミナセメント、スラグセメント、スーパーサルフェートセメントその他これらに類する水硬性セメント(着色してあるかないか又はクリンカー状であるかないかを問わない。)(含有率=32.75%)
二酸化ケイ素が66% \geq 0.1%のため、区分1Aに該当。

生殖毒性

分類できない:酸化カルシウム(含有率=0.17%), 二酸化ケイ素(含有率=66%), ポリアルキレングリコールモノ(又はジ)アクリレート(含有率=0.41%), ケイ酸アルミニウム(含有率=0.23%), 石こう(含有率=0.35%), アルミナホウ珪酸ガラス(含有率=0.09%), ポートランドセメント、アルミナセメント、スラグセメント、スーパーサルフェートセメントその他これらに類する水硬性セメント(着色してあるかないか又はクリンカー状であるかないかを問わない。)(含有率=32.75%)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

データ不足のため分類できない。

区分1:酸化カルシウム(含有率=0.17% 臓器=呼吸器)

区分3:石こう(含有率=0.35% 臓器=気道刺激性), ポートランドセメント、アルミナセメント、スラグセメント、スーパーサルフェートセメントその他これらに類する水硬性セメント(着色してあるかないか又はクリンカー状であるかないかを問わない。)(含有率=32.75% 臓器=気道刺激性)

分類できない:二酸化ケイ素(含有率=66%), ポリアルキレングリコールモノ(又はジ)アクリレート(含有率=0.41%), ケイ酸アルミニウム(含有率=0.23%), アルミナホウ珪酸ガラス(含有率=0.09%)

区分3(気道刺激性)の成分合計が33.10% \geq 20%のため、区分3(気道刺激性)に該当。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分1:酸化カルシウム(含有率=0.17% 臓器=呼吸器), 二酸化ケイ素(含有率=66% 臓器=呼吸器, 腎臓, 免疫系), ポートランドセメント、アルミナセメント、スラグセメント、スーパーサルフェートセメントその他これらに類する水硬性セメント(着色してあるかないか又はクリンカー状であるかないかを問わない。)(含有率=32.75% 臓器=呼吸器)

分類できない:ポリアルキレングリコールモノ(又はジ)アクリレート(含有率=0.41%), ケイ酸アルミニウム(含有率=0.23%), 石こう(含有率=0.35%), アルミナホウ珪酸ガラス(含有率=0.09%)

二酸化ケイ素が66% \geq 10%のため、区分1(呼吸器)に該当。

二酸化ケイ素が66% \geq 10%のため、区分1(腎臓)に該当。

二酸化ケイ素が66% \geq 10%のため、区分1(免疫系)に該当。

誤えん有害性

動粘性率:不明

分類できない:酸化カルシウム(含有率=0.17%), 二酸化ケイ素(含有率=66%), ポリアルキレングリコールモノ(又はジ)アクリレート(含有率=0.41%), ケイ酸アルミニウム(含有率=0.23%), 石こう(含有率=0.35%), アルミナホウ珪酸ガラス(含有率=0.09%), ポートランドセメント、アルミナセメント、スラグセメント、スーパーサルフェートセメントその他これらに類する水硬性セメント(着色してあるかないか又はクリンカー状であるかないかを問わない。)(含有率=32.75%)

動粘性率が不明のため、分類できないに該当。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)

区分に該当しない:二酸化ケイ素(含有率=66% 毒性値(魚類)=なし 毒性値(甲殻類)=なし 毒性値(藻類)=なし), 石こう(含有率=0.35% 毒性値(魚類)=なし 毒性値(甲殻類)=なし 毒性値(藻類)=なし)

分類できない:酸化カルシウム(含有率=0.17% 毒性値(魚類)=1070mg/l 毒性値(甲殻類)=なし 毒性値(藻類)=なし), ポリアルキレングリコールモノ(又はジ)アクリレート(含有率=0.41% 毒性値(魚類)=なし 毒性値(甲殻類)=なし 毒性値(藻類)=なし), ケイ酸アルミニウム(含有率=0.23% 毒性値(魚類)=なし 毒性値(甲殻類)=なし 毒性値(藻類)=なし), アルミナホウ珪酸ガラス(含有率=0.09% 毒性値(魚類)=なし 毒性値(甲殻類)=なし 毒性値(藻類)=なし), ポートランドセメント、アルミナセメント、スラグセメント、スーパーサルフェートセメントその他これらに類する水硬性セメント(着色してあるかないか又はクリンカー状であるかないかを問わない。)(含有率=32.75% 毒性値(魚類)=なし 毒性値(甲殻類)=なし 毒性値(藻類)=なし)

方式3:

加算法

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3が0%であり、濃度限界(25%)未満のため、区分に該当しないに該当。

方式1=、方式2=、方式3=区分に該当しないより区分に該当しないに該当。

毒性未知成分を33.65%含有。

毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

水生環境有害性 長期(慢性)

区分に該当しない:石こう(含有率=0.35% 毒性値(魚類)=なし 毒性値(甲殻類)=なし 毒性値(藻類)=なし 急速分解性=不明)

分類できない:酸化カルシウム(含有率=0.17% 毒性値(魚類)=なし 毒性値(甲殻類)=なし 毒性値(藻類)=なし 急速分解性=不明), 二酸化ケイ素(含有率=66% 毒性値(魚類)=なし 毒性値(甲殻類)=なし 毒性値(藻類)=なし 急速分解性=不明), ポリアルキレングリコールモノ(又はジ)アクリレート(含有率=0.41% 毒性値(魚類)=なし 毒性値(甲殻類)=なし 毒性値(藻類)=なし 急速分解性=不明), ケイ酸アルミニウム(含有率=0.23% 毒性値(魚類)=なし 毒性値(甲殻類)=なし 毒性値(藻類)=なし 急速分解性=不明), アルミナホウ珪酸ガラス(含有率=0.09% 毒性値(魚類)=なし 毒性値(甲殻類)=なし 毒性値(藻類)=なし 急速分解性=不明), ポートランドセメント、アルミナセメント、スラグセメント、スーパーサルフェートセメントその他これらに類する水硬性セメント(着色してあるかないか又はクリンカー状であるかないかを問わない。)(含有率=32.75% 毒性値(魚類)=なし 毒性値(甲殻類)=なし 毒性値(藻類)=なし 急速分解性=不明)

方式3:
加算法
(毒性乗率 × 100 × 区分1)+(10 × 区分2)+区分3が0%であり、濃度限界(25%)未満のため、区分に該当しないに該当。

方式1=、方式2=、方式3=区分に該当しないより区分に該当しないに該当。
毒性未知成分を99.65%含有。
毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

データなし
データなし
データなし
データなし
分類できない:酸化カルシウム(含有率=0.17%) , 二酸化ケイ素(含有率=66%), ポリアルキレングリコールモノ(又はジ)アクリレート(含有率=0.41%), ケイ酸アルミニウム(含有率=0.23%), 石こう(含有率=0.35%), アルミナホウ珪酸ガラス(含有率=0.09%), ポートランドセメント、アルミナセメント、スラグセメント、スーパーサルフェートセメントその他これらに類する水硬性セメント(着色してあるかないか又はクリンカー状であるかないかを問わない。)(含有率=32.75%)

データ不足のため分類できない。

生態毒性
残留性・分解性
生体蓄積性
土壌中の移動性
オゾン層への有害性

13. 廃棄上の注意
残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
強アルカリ性であるため、酸で中和した後処理すること。
水溶液は、強アルカリ性を示すため酸で中和した後処理すること。

汚染容器及び包装

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
 特別管理産業廃棄物のため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。
 本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。
 容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
 高圧ガスの容器を廃棄する場合は、製造業者等専門業者に回収を依頼すること。
 スプレー缶を廃棄する場合は、自治体により廃棄方法が異なるので該当する自治体の規定に従うこと。

14. 輸送上の注意
国際規制

海上規制情報 該当しない
 Marine Pollutant Not applicable
 Liquid Substance Not applicable
 Transported in Bulk
 According to
 MARPOL 73/78,
 Annex II, the IBC
 Code

国内規制

航空規制情報 該当しない
 陸上規制 該当しない
 海上規制情報 該当しない
 海洋汚染物質 非該当
 MARPOL 73/78 附 非該当
 属書II 及びIBC コー
 ドによるばら積み輸
 送される液体物質
 航空規制情報 該当しない

緊急時応急措置指針番号

なし

15. 適用法令
労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

・ポルトランドセメント(法令指定番号:545の2)(32.75%)

・結晶質シリカ(法令指定番号:165の2)(6%)

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理
促進法 (PRTR法)
消防法
海洋汚染防止法
外国為替及び外国貿易
法
特定有害廃棄物輸出入
規制法 (バーゼル法)
じん肺法

非該当

非危険物
有害でない物質 (施行令別表第1の2)
輸出貿易管理令別表第1の16の項

特定有害廃棄物 (法第2条第1項第1号イ、平
成30年6月18日省令第12号)
法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業

16. その他の情報
その他

注意：記載した内容は現時点で入手できる資
料、情報、データに基づいて作成しており、以
上の情報は新しい知見により、改訂されること
があります。

また、注意事項は通常の実施を前提としたも
のであって、特殊な取扱いの場合には用途、用
法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい
。

本製品を使用するに当たって、提供された情報を
適用するかどうかの最終的な決定は使用者の責
任で行って下さい。

全ての物質は未知の危険性を呈する可能性があ
り、ここで示した危険性は起こり得る全ての危
険性を網羅したものであるということを保証す
るものではありません。

以上は情報提供であり、本情報による指示に従
って本物質が取扱われていようといまいと、本
物質の取扱いによって生じる損害等の結果に対
する責任については一切責任を負いません。